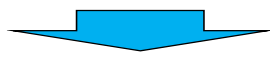


第5次総合計画 中期戦略事業プラン 事務事業評価シート

事業名	市営住宅長寿命化対策事業			事業番号	32-103
事務事業担当	部名	部長名	課名	課等の長	
	都市部	重田 浩光	建築住宅課	藤堂 勝彦	

計 画 (Plan)

総合計画体系	都市力	まちづくり目標	4	住み続けたい快適で魅力あるまち	
		基本政策	9	快適で暮らしやすいまちづくり	
		施策展開の方向	2	便利で機能的なまちをつくる	
		施策	32	公共施設の効率的な活用と維持管理・保全の推進	
予算事業名	市営住宅運営管理費				
事務区分〔選択〕	<input checked="" type="radio"/> 自治事務 <input type="radio"/> 法定受託事務 (選択してください)→			法令上の位置づけ	できる規定がある
事業開始年度	開始年度	平成25年度以前	～	終了年度	-
関連法令等	住生活基本法(平成18年法律第61号)				
国・県の計画等	国:住生活基本計画(全国計画)・・・県:神奈川県住生活基本計画			計画期間	平成28年度～平成37年度
関連個別計画	伊勢原市営住宅長寿命化計画			計画期間	平成22年3月～平成31年度
実施の背景 (事業を取りまく環境・市民ニーズ)	ライフスタイルの変化や少子高齢社会の到来など、社会情勢の変化に伴い、市営住宅管理においても環境に配慮し、現有ストックを活かした改修計画への移行などの対応が求められています。効率的かつ円滑な更新を実現するため、予防保全的な維持管理を推進することにより公営住宅ストックの長寿命化を図り、ライフサイクルコストの縮減につなげていくことが重要な課題となっています。				
目的 (何をどうしたいのか)	修繕周期を大幅に超えている市営住宅のストックを良好な状態で耐用年数まで活用できるよう、確実な点検および維持管理により予防保全的な修繕や効率的な改善を行うことで更新コストの縮減を目指し、耐久性の向上を図り、質の高いストックとして確保し、長寿命化を図ります。				
主な対象 (誰・何を対象に)	市営住宅入居者および特に居住の安定を図る必要がある住宅困窮者				
事業内容 (手段、手法など)	・市営住宅長寿命化計画に基づき池端、峰岸、千津、精進場の各市営住宅の長寿命化対策工事を行います。				
事業行程	項目	年度			
		28年度	29年度		
	給水方式の変更	峰岸工事、千津設計		千津工事	
	外壁改修、屋上・屋根防水改修	池端工事、峰岸設計		精進場・峰岸工事、千津設計	
目 標	【指標名】	【現状】	年度		
	市営住宅長寿命化計画改善事業の進捗率		28年度	29年度	
		5.4%	35.2%	61.9%	



事業実施(Do)へ

事業実施 (D○)

事業の「取組方針」 (前年度事務事業評価)	市営住宅長寿命化計画に基づき長寿命化対策を進めます。 (次年度に予定する取組) 千津住宅受水槽改修工事、精進場住宅外壁・屋根防水改修工事、峰岸住宅外壁・屋根防水改修工事 千津住宅外壁・屋根防水改修工事設計			
実施方法 〔選択・記入〕	<input type="radio"/> すべて直接実施 <input checked="" type="radio"/> 左記以外			
	<input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理	委託先又は指定管理者	建築設計事務所	
	<input type="checkbox"/> 補助金	補助先		
	<input checked="" type="checkbox"/> その他	具体的内容	工事施工業者	
実施結果	項目	年度		
		28年度	29年度	
	給水方式の変更	峰岸工事、千津設計	千津工事	
	外壁改修、屋上・屋根防水改修	池端工事、峰岸設計	精進場・峰岸工事(1号棟)、千津設計	
実施した取組の内容	事業工程のとおり改修工事および設計を実施しました。			
目標の達成状況	【指標名】	【現状】	年度	
			28年度	29年度
	市営住宅長寿命化計画改善事業の進捗率	5.4%	31.9%	50.8%

	年度		28年度 実績				29年度 実績				
内訳	事業費合計 (a)		114,789		千円	107,703		千円			
	内訳	国県支出金 ①		42,638		千円	43,904		千円		
		地方債 ②		65,400		千円	63,100		千円		
		その他特財 ③		0		千円	0		千円		
		一般財源 (a)-①-②-③		6,751		千円	699		千円		
国県支出金の内容		社会資本整備総合交付金(地域住宅支援) 補助率: 45% 防災・安全社会資本整備交付金(地域住宅支援) 補助率: 45%									
コスト	その他特財の内容	受益者負担	<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無		前回の改定時期	収入に基づき毎年算定(住宅使用料)					
		その他									
人件費	正規職員		0.53	人	4,585	千円	0.69	人	6,024	千円	
	その他の職員		0.00	人	0	千円	0.00	人	0	千円	
	人件費合計 (b)		0.53	人	4,585	千円	0.69	人	6,024	千円	
トータルコスト (a)+(b)				119,374	千円			113,727	千円		
単位当たりコスト	対象数	定義	入居者及び入居予定者		単位	入居者及び入居予定者		単位			
		対象数	256		人	187		人			
	総事業費/対象数	466,305		円	608,166		円				

↓ 評価 (Check) へ

評 価 (Check)

<p>進捗状況 〔選択・記入〕</p>	<input type="radio"/> 計画どおり (A) <input checked="" type="radio"/> 概ね計画どおり (B) <input type="radio"/> 計画どおり進捗せず (C)	<p align="center">B</p>	<p>左記判断理由</p>	<p>給水方式の変更(千津住宅)、外壁改修、屋上・屋根防水改修(精進場住宅、峰岸住宅1号棟)を実施しました。</p>
<p>実施水準 〔選択・記入〕</p>	<input type="radio"/> 他市より高い水準で実施 (A) <input type="radio"/> 他市と同水準で実施 (B) <input type="radio"/> 他市より低い水準で実施 (C) <input checked="" type="radio"/> 一律に比較できない事業	<p align="center">—</p>	<p>他都市の事業内容等</p>	<p>建設年度、維持管理状況などが異なることから、一律に他都市と比較することは困難であると考えます。</p>
<p>有効性 〔選択・記入〕</p>	<input checked="" type="radio"/> 高い (A) <input type="radio"/> 普通 (B) <input type="radio"/> 低い (C)	<p align="center">A</p>	<p>左記判断理由</p>	<p>給水方式を直結増圧方式に変更したことで、安定した給水の確保および維持管理の効率化を実現しました。また外壁改修・屋上防水改修工事の実施による耐久性の向上で施設の長寿命化を図りました。</p>
<p>効率性 〔選択・記入〕</p>	<input checked="" type="radio"/> 効率的に実施されている (A) <input type="radio"/> 改善の余地がある (B) <input type="radio"/> 抜本的な改善が必要である(C)	<p align="center">A</p>	<p>左記判断理由</p>	<p>市営住宅長寿命化計画に基づき交付金等を活用し、計画的かつ効率的に進めることができました。</p>



取組内容の改善 (Action)

<p>事業推進上の課題</p>	<p>施設を良好な状態で維持・活用するため、引き続き計画的な改修が必要です。</p>
<p>次年度以降の取組の方向性</p>	<p>市営住宅長寿命化計画に基づき、効率的な改修による更新コストの縮減を図り、耐久性を向上させ、計画的に長寿命化対策を進めます。</p>
<p>所管部長による総評</p>	<p>公共施設の長寿命化は、限られた資源の活用やコストの削減など、経済面においても有効な取組であると認識しています。引き続き社会資本整備総合交付金の活用を図り、市営住宅の長寿命化対策を計画的に推進する必要があります。</p>